

令和 8 年
長浜市議会定例会招集議会
市長招集あいさつ

令和 8 年 8 月 1 2 日

本日ここに、令和８年長浜市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さま方には、ご参集を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

～令和８年熊本地震について～

はじめに、令和８年熊本地震により、尊い命を失われた方々に対し、謹んで哀悼^{あいとう}の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

被災地では、厳しい暑さの中、今なお避難生活や復旧活動が続いています。一日も早く、被災された皆様が平穏な暮らしを取り戻されることを、心より願っております。

関西広域連合では、被害の大きい自治体ごとに支援を担当する府県を割り当てる体制がとられ、滋賀県と京都府は、熊本県宇土市^{うとし}への支援を担うこととなりました。

これを受け、本市からも、住家被害認定調査の業務に職員２人を派遣するとともに、八代保健所管内^{やつしろ}の避難所等へ保健師１人を派遣いたします。

派遣する職員には、これまで培ってきた知識と経験を存分に発揮し、被災された方々に寄り添いながら、生活再建

と復旧の力になってほしいと思います。同時に、自らの健康と安全にも十分留意し、無事に任務を果たして帰ってくることを願っています。

また、市内の関係機関においても、長浜赤十字病院から災害医療チーム、いわゆる^{ディーマット}DMATをはじめとする専門チームが相次いで派遣され、今後も活動が予定されるなど、被災地への支援が続いています。

長浜市社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金の受付が始まっており、市役所にも募金箱を設置いたします。長浜市連合自治会とも連携しながら、市民の皆様の温かいお気持ちを被災地へ届ける取組を進めてまいります。

今後、被害の状況によっては、さらなる支援が求められることも想定されます。引き続き、滋賀県及び県内市町をはじめ、関係機関と緊密に連携し、本市として果たすべき役割に、迅速かつ着実に取り組んでまいります。

～市議会議員選挙について～

さて、議員の皆さまにおかれましては、去る7月に執行されました長浜市議会議員選挙において、市内各地で熱心に訴えを重ねられ、めでたく当選の榮譽を得られましたこと、心からお祝いを申し上げます。

再び市民の信託を得られた皆さま、そして、新たに市議会議員としての第一歩を踏み出された皆さまには、市民の代表として、その手腕を存分に発揮されますことを心から願っております。

本市は今、人口減少や少子高齢化への対応をはじめ、地域医療の確保、産業の振興、子育て支援、若者の定着など、将来に向けて取り組むべき重要な課題に直面しています。

こうした課題を乗り越え、未来への道筋を切り拓くためには、市と議会がそれぞれの役割と責任を果たし、市民の暮らしと長浜市の将来という共通の目的に向けて、議論を重ねることが何より重要です。

私が市政運営の基本姿勢として掲げる「改革」と「対話」のもと、市と議員の皆さまとが率直かつ前向きな意見を交わし、建設的な対話を通じて新たな信頼関係を築くとともに

に、丁寧な合意形成を図りながら、市民のための市政とともに前へ進めてまいりたいと考えております。

～株式会社黒壁の新たなスタートについて～

次に、株式会社黒壁の新たなスタートについて申し上げます。

株式会社黒壁は、7月31日に新たな役員体制を決定し、8月1日から新会社として事業を開始されました。

今回の再建では、黒壁が長年培ってきたブランドと事業、そして従業員の雇用を引き継ぐ「第二会社方式」が採られています。長浜市、奥伊吹ホールディングス株式会社、長浜商工会議所及び公益社団法人長浜米原観光協会が共同で出資し、官民が力を合わせて再建を支える体制が整いました。

新たな代表取締役社長には寺田康次^{てらだこうじ}氏が就任され、中心市街地の賑わいを創出し、長浜観光の「誘客のエンジン」としての役割を一層高めるとともに、「末永く安定した自立経営」の確立を目指しておられます。

今日の黒壁があるのは、債権者として再生に多大なご理解とご協力をいただいた金融機関の皆様、長年にわたり貴重なご出資をいただいた株主の皆様、収益改善にご支援いただいた株式会社地域経済活性化支援機構、いわゆる REVIC、そして、その歩みを支え、育ててこられた市民の皆様、商店街をはじめとする地域の皆様の、多大なお支えがあったからにほかなりません。

今回の再建に至るまでには、それぞれ、さまざまな思いがおありになったものと受け止めております。これまでのご支援とご尽力に対し、改めて深い敬意と心からの感謝を申し上げます。

新会社のスタートは、こうした皆様の長年にわたる歩みの上に成り立つものです。本市も出資者の一員として、経営陣、従業員、商工・観光関係者、そして地域の皆様と力を合わせ、黒壁の歴史とブランドの価値を次の時代へ引き継ぎ、安定した自立経営と中心市街地の賑わいの再生を支えてまいります。

市民の皆様、地域の皆様におかれましても、新たな黒壁とともに盛り上げていただきますよう、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

～結びに～

新たな議会のスタートに当たり、市と議会が互いの役割を尊重し、力を尽くすことで、市民の皆様の信頼と期待に応える市政を築いていきたいと考えております。

議員各位におかれましては、市民の代表として、その手腕を遺憾なくご発揮いただき、市政のさらなる発展に向け、前向きで積極的なご提言を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのますますのご活躍を祈念申しあげ、令和8年長浜市議会定例会招集議会の開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。